

Elisabeth EYE

OCTOBER
2025
Vol. 79



エリザベト音楽大学

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

I myself change through music to make the world better.



エリザベトコンサート2025in松江(5月31日 さんびる文化センタープラバホール)



報道写真展「戦争と平和」オープニングコンサート
(6月12日 旧日本銀行広島支店)



エリザベトコンサート2025in呉(6月20日 新日本造機ホール)



トマシュ・リッテル フォルテピアノリサイタル
(6月29日 セシリアホール)



被爆80年 イタリア・ドイツ公演壮行演奏会 ピースコンサート(8月27日 セシリアホール)



こどものためのミニオペラ「ピッコロ山のおんがくかい」
(9月6日 東広島芸術文化ホール くらら 大ホール)



エリザベト音楽大学
理事長・学長

川野 祐二

カトリック音楽大学に相応しい海外研修

昨年の『Elisabeth EYE』エリザベトアイの秋号の冒頭、江波山気象館のデータを引用して広島市の猛暑日について書きましたが、今年は昨年よりさらに酷暑の毎日でした。地球温暖化問題に関して、本学そして一人ひとりが何をすべきかを、今一度真剣に考える必要性を痛感しています。

7月30日から8月8日まで、声楽専攻生を中心とする合唱団44人がローマ、ヴェネツィア、ハノーバーを訪問し、宗教曲及び平和を希求する作品を歌いました。2年前のピアノ専攻のドイツ・フライブルク研修、昨年の吹奏楽団の韓国・済州国際管楽祭出演の次は、声楽の学生をヨーロッパへ連れていきたい、という声楽教員の希望が叶いました。またキャンパス・ミニストリーの教職員4人は研修として同行しました。

ローマ市内の二つのイエズス会の教会（ジェズ教会&イグナチオ教会）及びイエズス会本部ソーサ総長の前で、学生たちが合唱を披露したことは、本学の78年の歴史で初めてのことです。イエズス会元総長ペドロ・アルペ神父の列聖を祈念する合唱曲《「他者のために」 ペドロ・アルペ神父を偲んで》（作詞：F・アント、作曲：岡田陽子）を新たに作り、ローマで演奏したことも、カトリックの音大らしい貢献でした。

8月6日には、ハノーバー市主催の原爆犠牲者追悼式典において、広島市派遣の平和芸術団として《Da Pacem Domine》を歌ったことは、学生たちの生涯の記憶に刻まれたことでしょう。3都市を訪問し、グレゴリオ聖歌と合唱曲を歌うのみならず、聖なる扉をくぐったサン・ピエトロ大聖堂他各都市の教会堂に入り、街のあちこちを探索したことをとおして、西洋音楽がヨーロッパ史及びキリスト教と深く結ばれていることについて、体験をとおして学んだのではないのでしょうか。

さらに本年8月24日から9月3日まで、ピアノ専攻生17人は、ミュンヘン郊外においてヤクブ・チズマロヴィチ教授の指導を受け、大きな成果を得て帰国しました。ミュンヘンではマリエン広場の新市庁舎、アルテ・ピナコテーク美術館をはじめとする学生の心を揺り動かし耕す名所を訪れたことと推察します。このような研修に際して、大学は経費の約半額を上限に助成していますが、学生の専門教育、国際性、教養力の涵養に資する活動に対して、今後も継続する所存です。研修に同行して学生をサポートして下さった教職員の皆さま、本当にお疲れさまでした。

本年の新入生は定員よりも多く入学しました。オープンキャンパスあるいは高校訪問等からの情報を集約すると、大学で音楽を学ぶことを希望する志願者は増えつつあるようです。在学生には各種奨学金を提供し、本人の進路選択の希望に沿えるよう指導を強化しています。法人の財務運営は順調です。これからもエリザベト音楽大学を応援して下さるようお願いいたします。



広島FMラジオ エリザベト音楽大学 presents ミューズの扉

【放送日時】 毎週日曜／午後6時30分～6時55分（25分番組）

【放送局】 広島エフエム放送株式会社

2025年4月より、広島エフエム放送株式会社とコラボレーションし、ラジオ番組の放送を開始しています。

番組では、本学教員や学生らが出演し、音楽活動や音楽の魅力などについて熱く語ります。グレゴリオ聖歌を紹介するコーナー「今日のちゃんとグレゴリアンチャント」もどうぞお楽しみに♪

ラジオ（radiko）や大学ホームページから過去の放送を聞くことができます。



大学ホームページ



エリザベト音楽大学合唱団 被爆80年 イタリア・ドイツ公演

私は7月30日から8月8日まで被爆80年イタリア・ドイツ公演に参加しました。広島市の「平和芸術団」として派遣され、姉妹都市であるハノーバーをはじめとした3都市において、音楽を通じて平和の尊さや原爆の恐ろしさを発信する機会をいただきました。

最初に訪れたローマは、25年に一度の聖年にあたり賑わい、華やかな空気に満ちていました。国も言語も違う人々が集まり、共に笑いあっている姿は印象的でした。特にカトリック信者にとって大切な場所である教会で、私たちが歌を届けられたことに心が震えました。あんなにも美しく響く教会で演奏できたことは生涯忘れることがないだろうと思います。

その後訪れたヴェネツィア、ハノーバーでの演奏では、特に林光作曲「原爆小景」を披露させていただけたことが印象に残っています。日本語の歌詞なので当初は伝わるかどうか不安でいっぱいでした。しかし、現地の人々は私が思っていたよりもずっと真剣に耳を傾けてくださいました。世界のつながり、人の温かさ、音楽の力の大きさを改めて実感することができる経験でした。

今回「平和芸術団」として活動させていただいたことで多くの学びがありました。平和への祈りを込めた私たちの演奏に耳を傾けてくださる通りすがりの方々、私たちと共に午前8時15分に黙とうを捧げてくださる方々の姿に感動を受け、改めてそのような姿が世界中にあふれるように努力したいと感じました。

このような機会をいただけたことに心から感謝し、この経験で得たことをこれからの演奏活動の糧として、精進していきたいと思います。

声楽専攻 1年 高野 奏花



8月1日 聖イグナチオ・デ・ロヨラ教会(ローマ)



8月6日 マルクト教会(ハノーバー)

公演の様子はこちら→



ローマでの演奏とイエズス会本部訪問

7月31日、ジェズ教会で行われた聖イグナチオ・デ・ロヨラの祝日のミサにあずかり、奉納と聖体拝領の際に聖歌隊として奉仕しました。

翌8月1日に行われた聖イグナチオ・デ・ロヨラ教会での演奏会では、広島で被爆者救援に尽くしたベドロ・アルベ神父の列聖を祈念する合唱曲《「他者のために」ベドロ・アルベ神父を偲んで》をはじめ、約1時間のプログラムを披露しました。

8月2日には聖年を祝うサン・ピエトロ大聖堂を訪れ、全員で祈りを唱えながら聖なる扉をくぐりました。午後からはイエズス会本部にてアルトゥーロ・ソーサ総長と面会。総長への音楽のプレゼントとして、聖年公式聖歌「希望の巡礼者」をイタリア語と日本語で心を込めてお届けしました。

キャンパス・ミニストリー



8月2日 イエズス会本部にてソーサ総長と

夏期

ピアノ研修 in ミュンヘン



ノイシュヴァンシュタイン城の前にて



8月24日から9月3日にかけてミュンヘン郊外オルヒングで行われたピアノ研修に参加しました。

念願だったドイツに行き実際に演奏してみると、空気感の違いを感じ、響きや息遣いがクリアに聴こえました。講師のチズマロヴィチ先生のレッスンをとおして、自然なフレージングやペダルの奏法、さまざまな響きのバランスなどを学び、演奏についての考え方が大きく変わりました。修了コンサートでは多くの現地の方にご来場いただき、会話をとおして音楽がとても身近なものであると感じました。演奏後には温かい拍手をいただき、ドイツで演奏できた事はとても貴重な経験になりました。

今回私たちが新しい環境の中で演奏に集中できるよう、沢山のサポートをしてくださった先生方をはじめ、このような機会をくださった大学にも感謝の気持ちで一杯です。

今回学んだこと、経験した感覚を忘れずにより深く人の心に響く音楽をめざして、これからも精進いたします。

鍵盤楽器専攻 3年 松尾 実乃里

研修の様子はこちら→



ASEACCU (東南・東アジアカトリック大学連盟)

第31回 ASEACCU総会・国際学生会議2025

今回のASEACCUは、8月18日から22日まで静宜大学(台湾・台中市)において「希望の巡礼者：Z世代の霊的成長と行動ーデジタル社会の中で希望を育むー」をテーマとして開催されました。

最初は英語に不安がありましたが、「伝えたい」という思いでつたない表現でも意見を述べる事ができ、また相手も汲み取ろうとしてくれたことで、コミュニケーションにおいて一番大切なことは言語ではなく、相手を思いやる気持ちなのだと感じました。どの国の参加者も自国を大切にしていることが伝わり、愛にあふれる5日間となりました。頑張る場所や対象は違いうけれど、ここで出会えた仲間との絆を強く感じられた貴重な経験でした。

今回の学生会議では、明確に解決すべき議題が予め提示されない中で、与えられたテーマに沿ってディスカッションを重ねていきました。

他の国や地域の方と意見を交えていくうちに、お互いの考え方や文化の違いに気づくことができ、また解決すべき課題を自ら見つけることができたことは大きな財産となりました。

今回身につけたことは、これからの自分の人生に大きな影響を与えるはずで、これが学びの本来の姿だと、大きな気づきを得ることができました。

管弦打楽器専攻 3年 益本 英莉奈、幼児音楽教育専修 2年 園山 真央



学生に配られたTシャツ



国ごとの学生による文化発表でのフルート演奏



高美湿地での集合写真



夜市で韓国人の学生とかき氷を

AJCU-AP (アジア・パシフィックイエズス会大学連盟) CEOs MEETING

今年度は、8月24日から26日までエリザベト音楽大学を会場として開催。

本学からは川野祐二学長とフランシスコ・アント准教授(キャンパス・ミニストリー室長)が出席し、各国の大学長らとインテグラル・エコロジーやAIなど大学教育を取り巻くさまざまな課題について意見交換を行い、今後の取り組みに向けて協議を進めました。

本学提供のプログラムとして、セシリアホールでの教員によるミニコンサートのほか、お好み焼き体験や宮島観光を行いました。会議終了後の27日には、オプションルツアーとして広島平和記念資料館と長束旧修練院を訪問しました。



Sharing Session



ミサ(世界平和記念聖堂)



長束旧修練院



不動産プロジェクトマッピングー光でつなぐ歴史と未来ー

エリザベト音楽大学で作曲を学ぶ学生たちが、不動産プロジェクトマッピングの音楽制作を担当します。

歴史ある不動産を舞台に、過去の出来事と文化を、現代の視点で解釈し、デジタルアートを活用して未来につなぐことをめざしています。

開催日時:2025年11月1日(土)・2日(日)

18:00~20:00

(約15分のループ上映)

観覧料:無料

会場:真言宗別格本山 安国寺 不動産

(広島市東区牛田新町3丁目4-9)

主催:比治山大学・比治山大学短期大学部

共催:エリザベト音楽大学





キャンパスニュース

エリザベトファミリー企画 第1弾！ エリザベト音楽大学出身の教員全員集合！

エリザベト音楽大学を卒業し、幼・小・中・高で勤務をされている方々(または退職をされた方々)を対象とした同窓会を企画いたします。

年齢や県を超えて集い、学生時代の思い出はもちろん、勤務校の話題、あるいは悩みなどさまざまに情報交換してください。詳細は後日HPやDMでご案内させていただきます。続報を楽しみにお待ちしております。



本行事をはじめ、卒業生とつながるさまざまな機会を予定しております。

[日時] 2026年2月23日(月・祝)
14:00～(予定)
[会場] エリザベト音楽大学(予定)

卒業生専用サービス『ALUPA』について

エリザベト音楽大学では、卒業後にもさまざまな大学とつながっていくために、卒業生専用サービス『ALUPA』を導入することになりました。

エリザベト音楽大学の卒業生しか見ることでできない、スモールSNSサービスですので、学生時代の思い出や各自近況を気軽にシェアすることができます。

申し込み方法は大学HPやDMで近日中にご案内いたします。

ALUPAの詳細はこちら→
<https://www.jast-alupa.com/>



2024(令和6)年度決算の概要

〔表1〕事業活動収支計算書

収支のバランス良好

(単位:円)

科目	予算	決算	差異(予算-決算)
学生生徒等納付金	372,000,000	388,050,500	△16,050,500
経常費等補助金	75,500,000	108,340,229	△32,840,229
その他	64,752,800	70,519,805	△5,767,005
教育活動収入計	512,252,800	566,910,534	△54,657,734
人件費	512,543,898	501,855,296	10,688,602
教育研究経費	444,613,000	385,727,009	58,885,991
管理経費	129,630,500	122,476,968	7,153,532
教育活動支出計	1,086,787,398	1,010,059,273	76,728,125
A 教育活動収支差額	△574,534,598	△443,148,739	△131,385,859
教育活動外収入計	700,000,000	720,741,200	△20,741,200
教育活動外支出計	250,000	249,674	326
B 教育活動外収支差額	699,750,000	720,491,526	△20,741,526
C=A+B 経常収支差額	125,215,402	277,342,787	△152,127,385
D 特別収支差額	317,200,000	319,084,324	△1,884,324
E 予備費	7,000,000		7,000,000
C+D+E 基本金組入前当年度収支差額	435,415,402	596,427,111	△161,011,709
基本金組入額合計	△262,000,000	△259,087,002	△2,912,998
当年度収支差額	173,415,402	337,340,109	△163,924,707
前年度繰越収支差額	1,783,555,893	1,783,555,893	0
翌年度繰越収支差額	1,956,971,295	2,120,896,002	△163,924,707

(参考)	事業活動収入計	1,532,252,800	1,609,817,140	△77,564,340
	事業活動支出計	1,096,837,398	1,013,390,029	83,447,369

〔表2〕貸借対照表(B/S)

左右でバランスしている

(単位:円)

科目	2025.3.31	科目	2025.3.31
① 固定資産	16,180,814,437	固定負債	299,765,310
有形固定資産	2,962,016,221	長期借入金	62,521,000
土地	441,820,561	退職給付引当金	237,244,310
建物	2,030,654,864	流動負債	93,165,163
その他有形固定資産	489,540,796	短期借入金	34,996,400
特定資産(基本金など引当資産)	12,755,419,670	未払金	8,468,956
その他の固定資産	463,378,546	前受金ほか	49,699,807
有価証券	461,881,678	負債の部合計	392,930,473
② 流動資産	899,454,730	基本金	14,566,442,692
現金預金	90,564,346	第3号基本金ほか	14,566,442,692
③ 流動負債	808,890,384	繰越収支差額	2,120,896,002
④ 資産の部合計	17,080,269,167	⑤ 純資産の部合計	16,687,338,694
		⑥ 負債及び純資産の部合計	17,080,269,167

〔表1〕事業活動収支計算書…教育活動収支差額(符号A)は、支出が収入を上回り△4億43百万円となりました。予算を1億31百万円上回りました。収入が5億67百万円と予算を55百万円上回り、支出が10億10百万円と予算を76百万円下回ったことが要因です。

教育活動外収支差額(符号B)は、予算を21百万円上回り7億20百万円となりました。これらにより経常収支差額(符号C)は、2億77百万円と予算を1億52百万円上回り、さらに特別収支差額(符号D)3億19百万円を合算した基本金組入前当年度収支差額(C+D+E)は、予算を161百万円上回って5億96百万円となりました。基本金へ2億59百万円組入れ、当年度収支差額は3億37百万円となり、前年度繰越収支差額17億84百万円に加算して、翌年度繰越収支差額は21億21百万円となりました。

基本金組入前当年度収支差額(5億96百万円)が示すように、2024年度決算も前年度決算に引続き収支のバランスは良好となっています。

〔表2〕貸借対照表…学校法人の総資産は170億80百万円となり、2023年度末比、5億61百万円増加しています。⑥基本金145億66百万円と⑥繰越収支差額21億21百万円が本学の純資産166億87百万円となります。第2号基本金等への積立により、純資産が増加しています。2023年度に引続き財務基盤の強化が実現しました。

エリザベト音楽大学後援会

会員募集

エリザベト音楽大学後援会は、在学生の音楽研究活動を支援することを目的として、在学生保証人、卒業生、教職員そして後援会の趣旨に賛同して下さる方々により組織された団体です。在学生に対して主に次のような支援を行っています。

- 演奏活動支援 ○コンクール参加支援 ○セミナー参加支援 ○演奏会出演支援
- 美術館キャンパスメンバーズ(広島県立美術館、ひろしま美術館)

ご入会いただいた場合、本学の主催演奏会にご招待いたします。また、お納めいただきました会費は、税法上の寄附金控除の対象となります。この機会に、ご入会についてご検討くださるようお願い申し上げます。

郵便振替口座 01360-0-67324 加入者名 エリザベト音楽大学後援会

●お問い合わせ エリザベト音楽大学後援会事務局(総務部内) Tel082-221-0918(代)

2025 Concert Information

2025年度 エリザベト音楽大学
主催演奏会・公開講座スケジュール

11/1

土

セシリアホール

[開演]

15:00

入場料

1,000円

(全席自由)

被爆80年追悼 — ひびけ、未来へ 第84回 定期演奏会

曲目

C. Ph. E. バッハ:オルガン協奏曲 Wq. 35
W. A. モーツァルト:レクイエム K. 626 ほか

出演

指揮:鈴木優人
エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団 ほか



鈴木 優人



エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団

12/6

土

セシリアホール

[開演]

15:00

入場料

1,000円

(全席自由)

チャリティークリスマスコンサート

曲目

川上統:Dona Nobis Pacem
(2025年度宗教合唱曲委嘱作品・世界初演)
G. ガーシェウィン:パリのアメリカ人
坂本龍一:戦場のメリークリスマス ほか

出演

指揮:松元宏康、寺沢希
エリザベト音楽大学交響楽団 ほか



松元 宏康



寺沢 希



エリザベト音楽大学交響楽団

12/19

金

入場料

1,000円

コンサートシリーズ ヤン・イラー・チェック・フォン・アルニン客員教授 ピアノリサイタル

セシリアホール

[開演] 18:45



2026
3/22

日

入場料

無 料

第9回エスポワール新人演奏会

エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学 大学間包括協定事業

セシリアホール

[開演] 14:00予定



2026

無 料

3/5 木 春季大学院新人演奏会

[開演] 18:00予定 セシリアホール

3/8 日 卒業研究発表・演奏会

(音楽文化学科)
[開演] 10:00予定 ザビエルホール

卒業演奏会

(演奏学科 および卒業生全員による合唱)
[開演] 14:00予定 セシリアホール

2026
6/27

土

セシリアホール

[開演] 15:00予定

入場料

[前売り]2,000円

[当日]2,500円



エリザベト音楽大学



広島交響楽団

協演シリーズ Vol.5

S. ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 作品18、J. ヨンゲン:オルガン協奏の交響曲
A. デザンクロ:祈祷、呪詛と踊り

ピアノ:小蔭寛二 オルガン:佐々木悠 トランペット:小林鴻
指揮:キンボー・イシイ 管弦楽:広島交響楽団

※チケットは、
2026年4月27日より
販売開始予定



キンボー・イシイ



佐々木 悠



小林 鴻



小蔭 寛二

東広島市吹奏楽コンサート

2026年1月25日(日) 会場:東広島芸術文化ホール くらら 大ホール

スプリングフェスティバル

2026年3月14日(土)・15日(日) 会場:エリザベト音楽大学

お問い合わせ・チケット取り扱い: 学事部演奏活動 Tel 082-225-8004 変更になる場合がございますので、最新情報はホームページをご確認ください。

冬期受験講習会

開催期間 12月24日(水)・25日(木)

受付期間 11月15日(土)~22日(土)

講習科目 ■実技レッスン
(45分/6,000円・90分/10,000円)
■楽典・ソルフェージュ(聴音/視唱) 無料
■実力テスト 無料
■〈音楽家の耳〉トレーニング講座 無料

【申し込み方法】

- ①右記QRコードを読み取り、申込フォームにアクセスして必要事項を入力してください。
- ②実技レッスンを受講される場合は、所定の受講料を申込期間内にお振り込みください。
大学窓口での現金の納入は受け付けておりません。
※必ず受講者名でお振り込みください。

【振込口座】もみじ銀行 本店営業部 普通 4051680
ガク) エリザベトオンガクダイガク ガクジブ

申し込み用QR

